

## 平成29年度 第6回宇都宮市総合計画審議会 会議記録

■ 日 時 平成29年 12月 1日（金）午前9時30分～12時00分

■ 場 所 宇都宮市役所14大会議室

### ■ 出席者

#### 1 委 員

荒巻委員，市村委員，石井委員，馬上委員，蟹江委員，川上委員，郷間委員，小平委員，小林委員，小松崎委員，関野委員，高橋委員，綱河委員，中島委員，福田委員，藤原委員，三尾谷委員，三宅委員，山島委員，横松委員，吉本委員，渡邊（弘）委員，渡辺（博）委員

（五十音順）

#### 2 事務局

総合政策部長，政策審議室長，政策審議室総合計画担当主幹，政策審議室長補佐，政策審議室係長，政策審議室担当者

### ■ 会議経過

#### 1 開会

#### 2 報告事項

##### （1）報告事項

##### 会 長

- ・ 議事に先立ちまして，1点ほど報告事項があるということなので，事務局より説明をお願いいたします。

##### 事務局

- ・ (1)委員の変更について 事務局から説明

#### 3 協議事項

##### （1）第6次総合計画（素案）について

##### 会 長

- ・ それでは早速議事に入りたいと思います。今日の議題は，お手元にあります素案についてです。この素案は，今までだいぶ議論してきたものを反映して，全体の形としてまとめたものであります。絵なども入ってわかりやすくなっております。

- ・ 今まで、基本構想の部分、基本計画の部分も、好循環プロジェクトなどいろいろな形で議論してきております。今まで議論してきたことをまとめて入ってきているわけですが、今まで議論してきたことについては、修正したところについて説明頂き、基本計画の部分は新しい部分が出てきていますので、変更のあった点と新しいところを中心に御説明いただければと思います。

#### 事務局

- ・ 事務局から資料を説明

#### 会長

- ・ どうもありがとうございました。序論と基本構想の部分と、基本計画の計画フレームまでが、同じような内容が記載されているところですので、ここまでについて御意見・御質問があれば、いただきたいと思います。いかがでしょうか。

#### 委員

- ・ グラフについてですが、最近グラフィテラシー、統計リテラシーを高等学校の教育に入れていくという話があるので、専門家だけで考えていたことが、これからは一般にもわかるようになると思う。例えば、テレビ番組で3Dの円グラフは、面積が数値に比例しておらず、恣意的に見せているので、そういう作り方は良くないと思います。それと同じような注意事項に、棒グラフについてはゼロから始めることが考えられます。ゼロから始めないということは、ある短い部分だけを誇張して表現していると捉えられてしまうので、それは良くない気がします。専門家の間では、あそこのグラフは良くない等と言い合っていて、これから高等学校でそういった教育が進んでいくと、一般市民目線でも「何、このグラフ」といわれかねないので、行政から出す資料については、グラフの作り方を考えて、棒グラフにするのであれば、ゼロから始める、あるいは折れ線グラフにするという風に考えたほうが良いのではないかと思います。

#### 会長

- ・ 具体的に見ると19ページが棒グラフですが、これをゼロからやったらとてもグラフにならないので、折れ線でやるべきだということですね。

#### 委員

- ・ そうですね。折れ線グラフの方がいいですね。

#### 会長

- ・ 18ページのグラフは、ゼロからやっても意味がないので、折れ線でやるというこ

とですね。

**委員**

- ・ そうですね。これは、折れ線グラフの方がいいですね。棒グラフを折れ線にするか、あるいはゼロから始めるかで対応すればよいのではないかと思います。

**会長**

- ・ ゼロから始めると何だかわからない。そういったことができるかどうか。

**委員**

- ・ 世の中の動きがそうなので、宇都宮の報告書が格好悪いものにならないように修正をお願いします。

**事務局**

- ・ 総合計画だけではなく、各種統計書の作成にも、今の御指摘は通ずるものがあると思います。ありがとうございます。

**会長**

- ・ ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

**委員**

- ・ 3つのリングの提案を前回しましたところ、39ページにまちづくりの目標のイメージが、3つのリングになっているということと、単純に星の形にしないで、宇都宮の市章、シンボルマークにしたら良いのではないかという提案に対して、よく見ると宇都宮の市章になっているということで、細かいことに気を配っていただいて感謝しております。ありがとうございます。

**会長**

- ・ ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

**委員**

- ・ 51ページ、年少人口、生産年齢人口、老年人口とありますが、年少人口は15歳未満、生産年齢人口は15歳以上65歳未満というように数値も入れてもらえればと思います。これを見ただけでは何歳かわからない方がおられるかもしれないので、解説をお願いします。

#### 事務局

- ・ こちらは記載させていただきます。ありがとうございます。

#### 会 長

- ・ お気づきになったことがあれば、御発言いただければと思います。

#### 委 員

- ・ 人口推計のところなど難しいと思うが、グラフは丁寧に書いてもらったほうがいいと思います。
- ・ 5ページの国土形成計画の表ですが、唐突に出てきているような気がしまして、そもそも国土形成計画というのは、どのような趣旨でどのようなねらいがあるのか、その中で北関東という位置づけの中で、図に示すような働きがあるわけですが、出典を含めて、もう少し説明を入れてもらったほうが良いのではないかと思います。

#### 事務局

- ・ これまで宇都宮市の中の話を書き込んでいたわけですが、これからは、全国的な、又は北関東における立ち位置みたいなものを探した中で、国土形成計画を使わせていただきましたが、御指摘どおり、唐突感がありますので、全国的な、又は北関東における立ち位置を説明できるような資料を追加させていただきたいと思います。ありがとうございます。

#### 会 長

- ・ どうして国土形成計画を出したのか、まだスペースもありますので記載できるかもしれせん。ありがとうございます。ほかにありますか。

#### 委 員

- ・ 2ページの第1章、計画策定に当たって、2（2）基本計画の2行目、将来の「宇都宮」と記載しているが、後ろのほうに行くと「将来の宇都宮」という形でかぎ括弧が位置づけられています。

#### 委 員

- ・ 58ページの財政のところですが、「健全化基準が下回っています」という表現になっていますが、健全化基準を知っているならばいいのですが、我々素人は、「下回っている」と聞くと、達成していないと感じてしまい、この場合、数値が低ければ達成ということなのでしょうが、もう少し市民が理解しやすいようにするならば、「健全化基準をクリアしています」という形にしたほうが、いいのではないかと思います。

**会 長**

- ・ 達成しているとか、そういった表現にしたほうが良いということでしょうか。

**事務局**

- ・ 良い状態にあるということがわかるようにしたいと思います。

**委 員**

- ・ 61ページの土地利用について、前回、農業をどう捉えるかというお話をさせていただきましたが、ここでは農地を包括した自然的土地利用という形でまとめられていますが、これから農業も大きな変化を受けて動きが出てくると思うので、農業地としての土地利用を記載していただきたいと思います。

**事務局**

- ・ 自然的土地利用からの分割も含めて、検討させていただければと思います。

**委 員**

- ・ 以前、リーサスの地域循環図が入っていたかと思いますが、消してしまったんですか。

**事務局**

- ・ 以前入れておりましたが、抜いてしまっております。

**委 員**

- ・ 地域循環図が今ある資料の中では一番経済状況がわかるものだという認識を持っているので、入れておいてもらえると、良いのではないかと思ったので、御検討いただけるとありがたいと思います。どこに入れるかということはあるかと思いますが、例えば、経済の見通しなどのところに入れるなど考えられるかもしれません。
- ・ あの地域循環図は、去年、一昨年データになるのでしょうか。

**事務局**

- ・ 平成22年が最新だと認識しています。

**委 員**

- ・ 市の財政というのがありますが、経済状況を知るには、地域循環図が一番わかりやすいのではないかと思います。

#### 事務局

- ・ 入れる方向で検討したいと思います。

#### 委員

- ・ 4 ページの地図について、これは引用でしょうか。手を加えることは可能でしょうか。南北には東北新幹線，東北自動車道，国道 4 号が書いてあるんですが，そうした名称は，地図に示したほうが，宇都宮の利便性がわかりやすいのではないのでしょうか。
- ・ 5 ページについて，北関東の図になっていると思いますが，交通のアクセスという意味で，圏央道が開通したことによって，栃木県が非常に注目を浴びています。例えば企業の立地や人口流入の面で，関心を持たれているところがあるので，圏央道や，東武鉄道も栃木県に 200 億円近くの投資をするということなので，そういった観点で，交通アクセスは都市づくりの中で非常に重要であると思うので，そこはしっかり示したほうが良いのではないかと思いました。

#### 会長

- ・ ありがとうございます。そうですね，宇都宮は交通の便が非常にいいということで，書けるところは，書いていただければと思います。

#### 事務局

- ・ 5 ページの図は，国の計画図なので，加工が難しいのですが，4 ページの図は，線の名称などの工夫をしたいと思います。

#### 委員

- ・ より理解しやすいようにということで提案したいのですが，64 ページの概念図のなかに，都市拠点圏域という文言があったほうが，理解しやすいと思いました。説明自体は，64 ページにされていますが，図のなかに文言がないので，あったほうが良いのではないかと思いました。

#### 事務局

- ・ こちら「ネットワーク型コンパクトシティ形成ビジョン」という計画自体の図を引用させてもらっていますので，これを加工できるか検討したいと思います。

#### 会長

- ・ 説明で書く方法もあると思います。基本計画第 4 章以降はまた後で議論できればと思います。基本構想の部分で変わったところと言えば，基本構想第 4 章の将来のうつのみや像の実現に向けての部分が，前回，だいぶ議論されたところで，今回，その議

論を踏まえて 42 ページ, 43 ページが提示されていますが, これについて, 色々と議論できればと思います。

#### 委員

- ・ 39 ページの図について, 前回指摘させていただきましたが, 図については, 下に説明があるわけですが, 3つの輪については, 特に下に説明があるわけではないので, せっかく3つの輪を作ったのであれば, そのあたりを強調して, 加えてもいいのではないかと感じています。

#### 委員

- ・ 42 ページ, 43 ページについて, 各主体の役割について, これはこれでよいのではないかと思うのですが, 大学や金融機関など, 地域活動, 非営利活動をしているときのファンドをどうするか, そのほか, 頭脳をどうするかというところがあるのではないかと, いうところを前回お話しさせていただきました。その点について, 主体としてでなくても, 文章として表現できないかと思っています。

#### 会長

- ・ 具体的にどう書くか難しいところはありますね。

#### 事務局

- ・ 連携による協働という意味では, 43 ページに, 各主体間のお互いの強みを活かした協働という記載はしておりますが, どう表現できるか, 検討したいと思います。

#### 委員

- ・ 43 ページの御指摘いただいた箇所, 記載いただければよいと思っておりました。

#### 会長

- ・ 助け合って, 話し合い, 連携するのではなく, 互いの強みを活かしながら, 特徴を活かしながら, というようなことを入れていきましょう。

#### 委員

- ・ 39 ページの図があったと思いますが, 連携の仕方について, よくあるパターンとしては, 絵で書いたりしているものもあります。各主体に補助的に関わっている方が描かれていたりするなど, やり方は色々あっていいと思いますが, そういったイメージも盛り込んでもらえるといいのではないかと思います。

## 委員

- ・ 42 ページの事業者について、ワークライフバランスという言葉を入れていただいているのですが、まだ言葉が出てきて10年ぐらいなので、注釈を入れるなどの工夫が必要かと思えます。
- ・ 13 ページで、本市の男女別人口について、20～49 歳では男性の人数が女性よりも約10,000人、約1.1倍多くなっているという表現ですが、「多くなっています」で止めてしまっているのかなと感じています。20～49 歳というのは、子どもを産むと思われる年齢で、ここが少ないと子どもが増えないということが、この文章には隠されているのではないかと思います。この文章を読んだ人に、その点を想像して欲しいのか、女性が少ないということをどう見せたいのか、何かにつなげたいのか、すごく気になっているところです。自治体としても人口が減ることが一番避けたいことだと思うのですが、そこがすごく気になっています。

## 事務局

- ・ 第3章の宇都宮市の現状や時代潮流の変化と展望の書き方が、事実を伝える形を取っていて、17 ページに事実を捉えた総括をしております。そのため、13 ページでは「多くなっています」という事実を書いて、17 ページで、多くなっていることでどのようなことが懸念されるのかということに記載して、これが更にまちづくりの重点課題につながるという形で対応を図っております。

## 会長

- ・ ワークライフバランスについては一文入れたほうが良いのではないのでしょうか。

## 事務局

- ・ 以前、アルファベットやカタカナ用語はなるべく使わないように、使うのであれば注釈を入れるようにと指摘を受けておりましたので、注釈を入れたいと思います。

## 委員

- ・ いくつか図が気になっているのですが、例えば10 ページ、宇都宮市の出生数・死亡数及び自然増減の推移のグラフについて、右側の単位と左側の単位が同じ「人」で、メモリの振り方が違うということで、そういったものがいくつかでてくるのですが、そもそも右側と左側とでは単位が異なるものを使うと思うのですが、同じ単位だとどちらを読んでいいのか困ってしまうので、この点については工夫してもらえればと思います。
- ・ 男性が1万人多いという話ですが、宇都宮市の場合、自衛隊や大きな企業の独身男性が多いなど特殊な要因によって男性が多いのであって、女性が少ないのではないと



いう御説明を頂いていたかと思えます。男性が多いというその理由を記載してもらえると良いのではないかと思います。

#### 事務局

- ・ グラフについては、御指摘の通り、折れ線グラフと棒グラフを指しているもの右側と左側で示しておりますが、標記が抜けておりますので、左側、右側、それぞれが何を指しているのかを記載したいと思えます。
- ・ 男女の格差の話ですが、事実としては13ページで記載した後に、おそらく製造業が非常に強い年は、御指摘の傾向にあります。実は、豊田市もこのような傾向にあるようで、施策事業の課題の認識のほうに記載するようにしたいと思えます。

#### 委員

- ・ 今の点について、女性が少なくなっている一番大きな理由は、男性が流入しているのではなく、女性が流出しているというのが、宇都宮の定説ではなかったでしょうか。この点を言うのであれば、人口の流入、流出について記載しないといけないのではないのでしょうか。分析をしっかりと行ってもらわないと打つ手が見えないので、工夫をしていただきたいと思えます。

#### 会長

- ・ 女性が減っているのか、男性が減っているのかという点ですが、10代後半から20代にかけて、男性も女性も流出していく人が多いようですが、男性は入ってくる人もいるということを考えると、男性が多いということが言えるのではないかと思います。そのあたり、人口分析を行っていると思えますので、その分析を踏まえて、どこかに記載できればと思えます。

#### 事務局

- ・ 男性と女性で年代別に見ると、転出超過となる山が若干異なる状況でして、そのあたり、人口ビジョンで分析を行っていますので、認識のずれがないような記載にしていきたいと思えます。

#### 委員

- ・ 13ページのグラフについて、「本市の男女別人口は」と記載があるにも関わらず、グラフは20歳～49歳となっている。このグラフが何を目的に載せているのか、この世代のゾーンに絞った理由が入っていないと、一般の人が、「私は宇都宮にいてはいけないのか」というような捉え方をしかねないので、理由を追加すべきかと思えます。

#### 会 長

- ・ 49 歳までが子どもが生まれる年齢ということで、出産適齢期の女性が、男性と比べ少ないということを示したいということでしょうか。

#### 事務局

- ・ 左に示している人口ピラミッドが、全階層含まれており、平均寿命で見ると女性のほうが、最終的に人口構成が多くなるということを見せていますが、説明のほうで工夫をするか、もう少し長期のスパンで見せるか、検討させてください。

#### 会 長

- ・ トータルでは女性のほうが多いが、この年齢層では少ないという書き方になっています。書き方の工夫をしていただければと思います。

#### 委 員

- ・ 男女差についてですが、この男女比率のデータの後に、合計特殊出生率が入ってくるのではないかと思います。出生率に関連付けたいだけのデータになってしまっているのではないかと思います。おそらく一步足りないのかなという感じがするのですが、男女の差が、まずは結婚の比率のほうに入ってくると思います。未婚比率が間に入ってきて、最終的な結果として出生率に影響がでてくると思うのですが、男女の未婚比率の差があるが故に、男女の結婚の比率も変わってきているはずです。そうしたことが最終的に人口に響いてくるということが表現できればいいのではないかと思います。

#### 事務局

- ・ 未婚の比率等のデータも入れることを検討したいと思います。

#### 委 員

- ・ 50 ページの人口の見通しですが、最終的に人口が落ちていってしまうということですが、市としても様々な施策を展開していくと思いますが、その点について、この推計には加味されていないのでしょうか。

#### 事務局

- ・ 50 ページの図について、趨勢型というのが、このままの状況でいくという条件で推計したものであり、その場合、50 ページのように落ちていくことになります。色々な施策、取組を行って、何らかの形でそれが反映していくと、展望型ということで 2 つの推計を示しております。

#### 委員

- ・ 13 ページのところで、女性の数字が低いというところで、赤を使ったということは問題があるという認識があるということだと思っておりますが、出生率のところで、折れ線グラフの県のところが赤を使っています。市が中心となって考えていくということ踏まえれば、このグラフも市のところを赤にしたほうがよいのではないのでしょうか。

#### 会長

- ・ 一番目立つ色を市にするという御意見でしょうか。確かにこのままでいくと、国の部分が見えないですね。また、青の中に赤の数字が入っていると見えづらいです。

#### 委員

- ・ 25 ページの下の図ですが、D I Dの色が少し薄いので、もう少し濃くしていただけるといいのではないかと思います。また、38 ページですが、輪というのはすごくいいと思ったのですが、デザイン的な意見になります。輪の下に背景として丸のようなものが入って、強調できるのではないかと思います。最後に、61 ページの自然的土地利用、住宅用地、工業用地・商業用地についてですが、山のようなマークが入っていますが、すべて統一されているので、区別されるといいのではないかと思います。

#### 会長

- ・ 見やすいようなデザインにしていいただければと思います。

#### 事務局

- ・ 外部に向けてわかりやすい計画書づくりということがテーマになっていますので、最終的な仕上りの部分についても工夫したいと思います。

#### 委員

- ・ 42 ページ、43 ページは若干殺風景な気がしております。注釈は、できるだけ近いところに注釈を持ってくほうが良いのではないのでしょうか。注釈をできるだけ近くにして、空いた空間で、宇都宮像と各主体の役割と、協働によるまちづくりの推進の関係性がわかるようなものを表現できないだろうかと思っております。協働という言葉が一つのキーワードだと思うので、その辺がわかるような形の方がいいのではないかと思います。

#### 会長

- ・ ここだけ絵が入っていないですが、どういう表現にすべきか難しいところではある

と思います。検討していただければと思います。

#### 委員

- ・ 地方創生という大きな流れの中で、時代は広域連携に動いている。広域の連携の形を 43 ページでは文章で表現していただけていますが、実は広域というのは、9 ページに商圏の話があり、4 ページの図もあったわけですが、広域の形をどう表現するかというところを一つ工夫してもらえればと思います。宇都宮経済圏と呼ばれている区域がありますが、商圏という括り方もありますが、枠組みとして捉えた場合、どのような括り方をするのか、例えば 4 ページの図面については、広域的な商圏があるところでは、当然入れていかなければならないかなと思います。あるいは経済圏というものがあるとすれば、宇都宮経済圏も 100 万人といわれているので、それを入れていくという考え方もあるかと思います。また、43 ページの広域という括りの中で、経済の広域と、文化の広域と観光の広域と色々違ってくるところはあると思いますが、地方創生という大きな括りの中で、広域ということ意識していくというところが、ここ 10 年、20 年の認識なので、検討いただければと思います。

#### 会長

- ・ 難しいところはあるかも知れませんが、検討していただければと思います。

#### 事務局

- ・ パブリックコメントが来週から始まりますが、そこまでに間に合うものと、もう少し検討に時間を頂くものと分けて整理していきたいと思います。

#### 会長

- ・ 御指摘いただいたところで、すぐに直るところと少し検討しないといけないところがあるので、そこはパブリックコメントが終わった後で、ということで御了承いただければと思います。

#### 委員

- ・ 12 ページの人口ピラミッドですが、冊子を見た市民の方が、「私は今何歳だから、15 年経つとこうなるんだ」というように興味を抱くと思いますが、今は見づらいですが、実際に冊子になったときは、もう少し見やすく工夫されると思うのですが、いかがでしょうか。

#### 事務局

- ・ 今回、基本構想を 2050 年としており、2025 年における団塊の世代が後期高齢者、2050 年には第 2 次ベビーブームで誕生した団塊ジュニアの世代が後期高齢者になるという

ことで、非常に重要な図だと認識しており、御指摘の通り、計画書にする段階では字を大きくするなどの様々な工夫をさせていただきたいと思います。

#### 委員

- ・ 11 ページでの宇都宮市の将来人口推計のところ、5年刻みや10年刻みで縦線を入れたほうが見やすいのではないかと思います。

#### 委員

- ・ 39 ページの図形ですが、資料2でも同じ図が使われていますが、その中に例示されています。資料1の本文のほうにはその例示が入っていません。資料2は、広範囲の方に配られる資料なのかなと思いますが、両方に同じ図面を入れたほうがよろしいのではないのでしょうか。または、どちらかに統一されたほうが良いのではないのでしょうか。

#### 会長

- ・ 好循環プロジェクト自体は、後でまとめてでてくると思いますが、資料2については、資料1を短くまとめて作成されたということですか。

#### 事務局

- ・ 資料2の好循環の説明について、御指摘どおり、素案のほうに例示がなされていないのは事実でございます。素案と資料2の標記について、合わせる方向で検討したいと思います。

#### 委員

- ・ まちづくりの好循環のイメージ図について、第3章には、子育て、教育に関する現状や時代潮流が載っていないので、載せたほうが良いのではないかと思います。
- ・ 20 ページですが、宿泊者が増えていると思いますが、唐突に広域的交流の活性化という表現が出てきていたので、ここはどういうことなのか少し理解できなかったのですが、もう少し前に文章をつけたほうが良いのではないかと思います。

#### 事務局

- ・ 御指摘の通り、広域的交流については、19 ページの観光入込客数しかデータがないので、広域的な交流の活発化という表現が良いのか、図で何か加えたほうが良いのか、あわせて検討させていただければと思います。
- ・ 教育に関するデータということですが、学力のようなものが入れるのか、検討させていただきたいと思います。

#### 会 長

- ・ あまり学力を入れたくはないですね。

#### 委 員

- ・ 学力がいいかどうかは微妙なところですが、宇都宮に来ていただく方のことを考えると、子育て世代は学校がどのくらいあったり、こういった教育環境にあるのかが気になるのではないかと思います。宇都宮は、この時代に学校を新設するような市町村ですから、そうした点を踏まえて、何らかの情報が入っているといいのではないかと思います。

#### 会 長

- ・ 分野別で、学校教育の充実については記載があります。全体の潮流として入れるか、分野別の中で触れることで十分かどうか、検討いただければと思います。

#### 委 員

- ・ 今回はじめて基本構想を将来30年として捉えたということで、これまでの基本構想の捉え方とは大きく異なっています。これからパブコメなどを行っていく中で、市民が30年後の宇都宮市の姿はどのような形になるのだろうかという視点から基本構想を見ると思います。30年後の都市構造や都市経営のあり方、都市空間の姿とかは、大きく変わっているのだろうかという気がします。その中で、どういう覚悟を持って計画を策定していくかというところですが、特にまちづくりの目標に対する課題の捉え方について、ポジティブにいくのか、若干ネガティブなところを捉えながら、もう少し厳しい表現を入れていくべきか、そのあたり、よく吟味しながら、記載をしていっていただきたいというのが希望です。

#### 会 長

- ・ 非常に重い課題だと思います。それでは、まだ、発言されていない方、御発言をどうぞお願いいたします。

#### 委 員

- ・ 資料2の下にある、まちづくりの好循環の創出の部分で、例として、①や⑤とでてきますが、右側では、数字が黒塗りになっています。標記をあわせてもらったほうがいいのではないかと思います。

#### 事務局

- ・ 御指摘の通り、統一するというので、工夫をさせていただきます。

#### 委員

- ・ 役割ということと、根本的にはオール宇都宮市民でまちづくりをしましょうということを簡単に言いたいのだと思いますが、その属性をまず役割として、自分がどこに属するのかというのを分けたこと自体は非常にいいと思います。その中で、タイトルは「将来の宇都宮像の実現に向けて」と書いてありますが、将来の宇都宮像が何なのかというのは、実はこの序文には何も書いていないのです。それはこの総合計画の中で、スローガンの決めたものを指すのでしょうか、ここにもそれは入れるべきだと思いますし、スローガン自体が宇都宮市に属する市民全員のスローガンになるというような啓蒙活動的なところを、文章の中に盛り込むべきだと思います。例えば、宇都宮市民憲章って出来上がってからしばらく経っています。青年会議所でも必ず集まりのときには市民憲章の唱和を行いますが、新しく入ってきたメンバーはやはり知らないのです。市民憲章というものがいつできて、すごい歴史があるものなのに、意外と知らないのです。そこで教えて初めて「こういう宣言があるんだ」というのを知ったりするので、常に意識させる、目に付けさせる必要があると思いますので、あらゆるところで文章に盛り込んでいただきたいと思います。

#### 会長

- ・ ありがとうございます。それでは基本計画の第4章から、都市空間形成の基本方針と先ほど戦略事業の追加ということで御説明がございましたが、この中身について議論をしていただきたいと思いますが、都市空間形成の基本方針のところについて御意見等があれば、まずそこから始めたいと思います。できたら4章と5章を中心にまずは御意見をいただければと思います。

#### 委員

- ・ 72ページの取組テーマの3つめについて、「誰もが安心して移動できる社会づくり」の中にある「自動車」は「自家用車」じゃないかと思います。

#### 事務局

- ・ 御指摘の通りです。

#### 委員

- ・ 第6章の分野別計画の方にもまたがってしまうかもしれませんが、76ページ、魅力と夢の輪「ブランド発掘・創造・発信」プロジェクトの現状と取組の方向性の中に、ジャパンカップサイクルロードレースという表記がこの中で初めて出てくるかと思えます。地域資源の更なる活用やジャパンカップなど宇都宮市の強みを活かした取組を進められているということで、これはこの通りだと思っています。これを具体化・実

現していくための計画が、分野別計画第 6 章のⅣの「魅力・交流・文化」になるわけでしょうか。次に 129 ページの分野別計画の戦略事業として、自転車を核とした都市の魅力向上ということで、「国内外に認知されてきた自転車のまちとしての本市の優位性を更に高めるため、ジャパンカップの観客環境や安全性の向上を図るとともに、シクロクロスなどの新たなサイクルスポーツの振興や自転車の利用環境の向上に努める」ということで、ジャパンカップサイクルロードレースという表現がただ 2 か所しか出てこないような気がします。皆様よく御存知のようにジャパンカップサイクルロードレースは年一回開催しますが、2 日間で昨年も今年も十数万人、国内外のサイクリストをはじめ多くの観光客が訪れているところです。せっかくこの戦略事業の方に記載しているのであれば、その後の基本施策の 13, 14, 15 についても、スポーツイベントの誘致等という表現や、基本施策 14 ではスポーツのさまざまな資源の活用促進という表現が出て来てはおりますが、もっとこのジャパンカップサイクルロードレースを明確に今回の第 6 次総合計画の中に盛り込んでいくべきなのではないと思っています。

#### 会 長

- ・ 民間プロジェクトで名前があって、戦略事業でも名前があるけれど、分野別になると個々の具体的な基本施策に名前がないということですね。

#### 委 員

- ・ あえて言わせていただければ、現状の第 5 次総合計画ですと、現状をそのままやっているというニュアンスに私には思われる。そうではなくて、ジャパンカップを、もっと魅力を、ブラッシュアップしていった情報発信していくべきではないかと思えます。例えば、いろんな施策・事業が考えられると思いますが、森林公園内にある展示物を先日見てきましたけれども、人に見せられるものじゃないという感じがします。さまざまなジャパンカップに関するモニュメントを新たに作るなどの取組が考えられるのではないかと思います。ろまんちっく村は年間で 140 万人以上観光客が来ています。集客力があるところでジャパンカップについて情報発信するための何か仕掛けを作るとかいろんなことが考えられるのではないのでしょうか。ゆくゆくは、私の個人的な感想・希望としては、ジャパンカップサイクルロードレースミュージアムといったものも考えてみてはどうかと思います。もっと情報発信力を高めていくためにそういった仕掛けを数多く作っていく、それを第 6 次総合計画の中に盛り込んでいくべきではないのかなというところでございます。

#### 会 長

- ・ 戦略事業で入っていることが、分野別の例として入っていないということだと思いますが、戦略事業に入っているからやることはやるわけです。具体的にここで分野別



で書いてあるのは、おそらく今具体的に取り組んで決まっているものだと思うのですが、当然この戦略事業を踏まえていろんな施策が行われていくことになるので、今の段階でどう書くかということは検討していただいた方がいいかと思います。

#### 事務局

- ・ 134 ページの「魅力ある資源のブラッシュアップ」の中で、自転車を核とした都市の魅力向上という書きぶり、表現を前面に出すようなところで所管とも調整をしたいと思います。

#### 委員

- ・ それと都市ブランドの確立という部分と、観光と、両方にかぶってくると思うのです。表現が難しいかと思うのですけれどもよろしくお願ひいたします。

#### 委員

- ・ 好循環プロジェクトの一連の流れを作っていたところはすごく評価しているところなのですが、政策的に抜けてしまうところがあると思います。例えば、LRT の関係が 1 と 3 のプロジェクトには入っているのですが、環境という面で見たときに、3 つのプロジェクトの 77 ページのところ「低炭素化の促進」のところに出ていますが、そもそも車両を減らそうという中で、全体的な環境対策というものがあり、その部分は書き込んでもいいのではないかと思います。渋滞対策の中での環境対策というのもあったと思うので、そこも入れられると思いますし、例えば 77 ページのところであれば、LRT を観光資源という捉え方ができるとか、どこまでプロジェクトの横串を入れていくかは難しいとは思いますが、あらゆる関連性があるものについては拾いながら、スペースの関係もありますけど再検証していただいて、この方向でやるのかということまで踏み込んでもらえるといいかなと思います。

#### 会長

- ・ 77 ページでは LRT が様々な役割を果たすと書いてありますが、今の話としては、観資資源としてもものすごく大きくなるということです。富山にはそれで皆行っていきますけど、富山に行っている人はみんな宇都宮に来るようになると思います。ものすごい数の人が来ると思うのですが、そういう宇都宮の売りを書ける範囲で書いていくということでもよろしくお願ひします。

#### 委員

- ・ 76 ページの「女性が活躍できる社会の構築」というところで、女性が働く環境づくりがあるわけですが、「女性が活躍できる社会の構築」というあたりで、政策決定の前

の女性の進出といいますか、女性の地位向上ということも言われているので、どこかに女性の社会的な役割といいますか、政策決定の場のようなところで入れられるといいのではないかと考えています。できれば、一番初めの現状の中に入れていただくといいのかと考えていますが、男女共同参画の推進あたりに入れてみてはいかがでしょうかと思いました。

#### 事務局

- ・ 125 ページ②の男女共同参画の成果指標に、審議会等委員に占める女性の割合を目標として掲げて、なおかつ隣の構成事業の方に（2）の様々な分野における男女共同参画の推進の、意思決定過程における男女共同参画の推進という形で明記をさせていただいております。

#### 委員

- ・ 72 ページで初めて NCC という表現が出てきます。知っている人はネットワーク型コンパクトシティの略だと気づくでしょうが、一般の人は全くわからないと思います。略すのは悪いことではないと思いますが、もし NCC を使うのであれば、6 次総すべての表現を統一したほうがいいと思います。どちらにするかは自由だと思うので、統一していただけたらと思います。

#### 事務局

- ・ プロジェクトに入る前の 64 ページ、都市空間形成の基本方針の入口のところに、ネットワーク型コンパクトシティを記載していますので、例えば今委員がおっしゃるように注釈を入れるなどの工夫をすれば若干わかりやすくなるのではないかと思います。非常に長くなるので略したという背景がございまして、そこは誤解無いように資料の仕立てで工夫をさせていただきたいと思います。

#### 会長

- ・ 英語とカタカナですから、ぱっとここだけ見てしまう場合もあるから、いろいろなところで書いておいたほうがいいのかももしれないですね。

#### 委員

- ・ 平成の初めのころ 1.79 だった出生率が最新のデータで 1.5 になっているということですが、平成の始まりの頃には国も 20 年 30 年後に人が減るというのはわかっていたはずで、まさに国の無策というか、当時の与野党含む国会議員とか関係省庁には猛省していただきたいと個人的には思っております。先ほど、地方行政は広域連携型になってくっておっしゃっていましたが、私もまさにそう思っております、どうあっても、

宇都宮は北関東の要として成長しなければならないと考えています。その中で大変重要なのが、まちづくりの好循環プロジェクト、3つの輪のプロジェクトであり、1つ目は宇都宮はNCC関連のプロジェクト、2つ目は環状の輪、ICT関係、おそらくソサイエティ 5.0 とかそういうスマート社会を目指すという意味でのプロジェクトだと思います。3つ目が車輪の輪、シビックプライドなどそれに関連するプロジェクトだと思いますが。42～43 ページ、3つのプロジェクトを実行するのに、産官学など、協働していくことがイメージできないので、今はもちろん産官学だけではなく金融、メディア、労働団体、医療関係と協働でさまざまな難しい政策は進めていかなければならないという状況の中で、そのあたりの文言がどこかに入っているのも良いのではないかと思います。

- それと 143 ページに、中小企業の事業承継の促進を入れたのは大変結構なことで高く評価したいと思います。事業承継といいますが担い手が不足して跡継ぎがないといったイメージにどうしてもなりがちなのですが、非常に技術があったり、利益を出している会社でも、確かに後継者不足から解散してしまう事例というのは、栃木県、宇都宮の中でもかなりの数起きていまして、ここにもう少しわかりやすく入れるのであれば、事業承継、あるいはM&Aとかの手法も当然ある訳で、そういうところを少し入れたらいいのではないかと思います。

#### 事務局

- 今回、委員の御指摘通り、総合計画の審議委員会のメンバーを、産官学金労言と多分野の代表ということで、御選定させていただいているところです。43 ページの事業者の定義の注釈のところも、もう少し委員がおっしゃられたような形で工夫できればと思います。あと 143 ページの事業承継の問題ですけれども、今は中小企業の平均年齢は 60 歳ということで、4割くらいの方が、後継者が決まっていないという状況で、この事業はその分野の承継をクローズアップした書き方になっていますので、M&Aを含めたところをどうするか、引き続き検討させていただきたいと思います。

#### 委員

- 前回指摘させていただいた、3つのプロジェクトの取り組みテーマが非常に箇条書きで簡潔になってきて改善されたなというところで感謝したいと思うのですが、申し上げたいのは分野別の計画の文言を是非、統一してもらいたいです。例えば 72 ページの取り組みテーマが 3 点ございますけれども、子どもを守り育てる社会づくりと、市民が貧困に陥るなどと書いてあります。89 ページの方では、子どもの貧困対策の充実というのがあります。同じ内容でも、片方が市民、片方が子どもになっています。我々も詳細に言葉の統一を検討せざるを得ないと思うのですが、是非そういうところも留意して、せっかく非常に画期的な指標だと思うので、そういうところまで詳細に、チ

ェックしてもらえればありがたいかなと思います。

#### 会 長

- ・ これからじっくり見ていただいて、最後の審議会までに言葉を検討していただければと思います。

#### 委 員

- ・ 70, 71 ページのイメージ図なのですけれども、ここは導入部分で皆さんにイメージしていただくためにイントロになってくるところかなと思っているのですが、縦串と横串とか組織横断みたいなイメージを強く打ち出されているなという印象がありまして、どちらかというとも将来の宇都宮像というのが、せっかく 3 つの輪が入っているのに、ここでは輪の表現がなくなってしまって、実際に後ろのプロジェクトにいくと輝くひとの輪というのが頭に入ってきたので、表現としてはプロジェクトとして載ってはきているのですが、このイメージの中では輪という表現が入っていないなというのを率直に受けましたので、できればこの右側の図でプロジェクトの名前が載っていると思うので、ここに輪というのを表現していただいたほうがいいかなと思いました。また、この右側の図なのですが、人口減少、人口構造の変化という一番大きな頭の下に、3つの大きな矢印があって、それがまっすぐ下に降りてきてしまっているため、この人口減少に対応するのが「ICT で暮らす」という形で見られてしまう懸念があります。施策がまっすぐ縦に連携しているようなイメージを受けてしまう可能性があるため、見せ方の工夫をしてもらいたいというのが要望です。

#### 会 長

- ・ 「超高齢社会の到来」が「NCC が支える共生社会創出プロジェクト」で、「生産年齢人口の減少」が「ICT で暮らしもまちも元気プロジェクト」で、「少子化の進行・若い世代の流出」が「ブランド発掘・想像・発信プロジェクト」に読めてしまうということですね。

#### 事務局

- ・ 人口減少がいろんな分野にもっとも影響の大きいテーマで、環境問題とか経済の問題も色々ございますが、いろんなところに大きく関わってくるということで、切り口としてまず人口構造の変化を捉えました。その中で、人口構造の変化をどのように捉えるのか、3つに分けると大きく年齢3区分の表があって、それだけではないのですが、そこから課題を導出していくということで、課題導出の流れとして検討したのですが、誤解を招かない表現なども含めて工夫をしたいと思います。

## 会 長

- ・ 何となく繋がっていくなど、表現の仕方について、できる範囲で工夫してもらえればと思います。
- ・ それでは分野別計画の方に入っていきたいと思います。あるべき姿など、今までに出てきたことだと思いますが、個別の細かい事業はおそらくまだ検討中なので、全体の基本施策と、どのような目標でやってきたかということと、基本事業などについて、議論いただければと思います。

## 委 員

- ・ 156 ページの真ん中の段、⑤の成果、光化学オキシダント環境基準達成率についてですが、光化学オキシダントは、原因としては気温と車の排気ガスとか工場の排気ですが、実は宇都宮の場合には海風に乗ってくるなど、首都圏の影響が非常に大きいと言われていまして、このデータを監視することは大事なのですが、宇都宮の努力だけではカバーできない世界です。ですから、いくつか環境基本計画の指標を持っていますが、代表指標としてこれを取り上げるのは違うのではないかと考えていまして、むしろそれに近いとすれば、環境基本計画にある工場・事業所における排出基準超過件数を0にする、という方がストレートに活動に繋がるように思いますので、成果のあり方の変更を提案させていただきたいと思います。

## 事務局

- ・ 今回、総合計画の指標を第6次総より工夫させていただいた経過がございまして、なるべく産出成果と普通の成果指標と、大きな最終的な成果を基本施策指標でとった上で、それぞれ違うものを設定するという条件の中で、可能なものを所管として検討してきたところです。なかなか難しいのですが、今の御指摘を踏まえて所管の方と調整をさせていただきたいと思います。

## 委 員

- ・ 85 ページですが、グローバル社会・情報社会の急速な進展に対応できる教育の推進について、プログラミング教育はこれから必修化されるので重要ですが、情報教育全般を進めていかないとなかなか難しいという話を前回いたしました。論理的思考力を身に付けさせるためのプログラミング教育と書いてしまっていますが、プログラミングをやったからといって論理的思考力全般が身に付くわけではないというのはデータとしても出ているので、これはあまりよろしくないと思います。私の案として、論理的思考力は削除して、その代わりに情報社会を生きる力といった感じのものにしたらどうかと思います。情報社会を生きる力を身につけさせるため、情報教育・プログラミング教育を実施する、というかたちにした方がいいのではないかと思います。

#### 事務局

- ・ 御指摘を踏まえ検討いたします。

#### 委員

- ・ 94 ページの分野別計画，③地域とともにある学校づくりの推進のところでは、基本事業（3）地域と連携・協働した学校づくりの推進という項目があるかと思いますが、その中で小学校、幼稚園、保育所の連携の推進、というのはわかるのですが、あと学校で地域協議会をそれぞれ作っているかと思いますが。その中で中学校と小学校との連携を授業としてやられているかと思う。ここで小学校・幼稚園、保育だけではなく小学校、中学校との連携も記述として必要ではないかと思います。

#### 事務局

- ・ （1）の方の小中一貫教育の方で、おそらく所管の方で小・中の連携の部分を捉えたのではないかと考えられます。確認を取りたいと思います。

#### 会長

- ・ 趣旨は中学校も含めて連携ということで、個別の事業は細かい部分がありますけども、中に入っているかどうかを確認して、表現の仕方をこのままにするのかどうか検討をしていただければと思います。

#### 委員

- ・ 6章のところでは気になった点として、行政経営の176ページ、地域コミュニティという観点と、協働のまちづくりという大きなテーマが今回の6次総の中にあっただと思うのですが、一番身近な地域づくりをサポートする、地区行政というところがこの第6章に入っていると思うのですが、基本施策や基本政策目標だけを見ると、行政機能としての窓口機能とか、そういったところにずいぶん印象が残ってしまう。地域と行政をつなぐコーディネート機能とか、あるいは身近な地域のまちづくりを支援する機能というところが非常に薄い印象になってしまうので、構成事業や177ページ右下の赤いところには出て来るのですが、現状や課題認識のところ、それから基本施策の目標の中にも、そういった地域と行政のコーディネート機能や、あるいは身近な地域のまちづくりを支援する機能といった文言が出てくる方がより自覚できていいのではないかと思います。
- ・ あと今回、子どもや子育てに関する部分で出てくるかと思いますが、貧困というところの捉え方が非常に、まだまだ他人事のような状況でもあり、一方で数字で見ると相対的に子どものうち6～7人にひとりという、40人クラスでいったら6人くらいそういう状況の人たちがいるということなので、貧困を理解するための注意書きや、

補足の説明をどこかに示したほうがいいのではないかと思います。もう少し身近なものに捉えられるような説明は早い段階でしっかりした方がいいのではないかと思います。

#### 事務局

- ・ まず 176 ページ，確かに地区行政という施策が入っておきながらその文章が見えにくいということは，工夫をさせていただきたいと思います。ただ一方で，122 ページの，市民が主役のまちづくりのところの施策においては，適切な役割分担についての記載があり，このあたりのバランスを含め検討させていただきます。
- ・ 貧困については，審議会の中でも子どもというところにクローズアップするのか，親も含めて市民の貧困にクローズアップするののかとの御意見があり，表現が難しいところですが，今回，子どもの分野では子どもの貧困を示しています。経済的な貧困以外の，心の貧困なども言われているかと思いますので，どう表現するかにつきまして，引き続き検討させていただきたいと思います。

#### 会長

- ・ 最初の点は 176 ページのところ，これは行政経営基盤を確立すると書いてあるので，122 ページの方に市民の活動，協働によるまちづくりと書いてあるので，ここで書くとしたら基本施策の 11 に対応できるような市民と協働でのまちづくりを推進するために地区行政の評価をしていくという文言が政策目標に書いてあればいいのではないかと思います。176 ページは，行政基盤の確立で，それは 122 ページの方の目的に対応するのだということを入れるとわかりやすくなると思います。

#### 委員

- ・ 94 ページの真ん中の④，教育環境の充実の施策指標のところ，産出と成果が載っていると思いますが，81 ページの方で算出と成果が載っているのですが，私の認識として，産出物があって，そこから直接満たされるものが成果かなと思っていたのですが，④のところ，学校トイレの洋式化率があって，「インターネットやパソコンを利用して，学習に関する情報を得ている。」と回答した中 3 生の割合というところが直接つながってこなくて，ここがそれぞれ産出と成果で，関連させる必要がない場合は，81 ページの方の産出物と成果の説明を変えられたら良いのではないかと感じました。

#### 会長

- ・ 普通産出と成果といったら繋がっているようで，トイレの洋式化とパソコンは関係ない。ほとんど全部関係ないのですよね。だから産出と成果というものはそれぞれ別々のふたつの種類の指標で捉えて，産出というかたちで行政活動の成果と出てくるものと，

もう少しここを詳しく書かないとわからないということですね。できたらパブコメの前に対応していただけると良いのではないのでしょうか。

#### 事務局

- ・ 今の御指摘のとおり、誤解がないように、どういう形で設定したかというところを含めて記載したいと思います。

#### 委員

- ・ 目次の部分と3ページの「計画策定に当たって」にある、総合計画の構成イメージがまだ理解できません。3ページの基本構想にあたる部分が、第2部の基本構想に一致し、基本計画は第3部に一致するのだと思います。第3部第2章の計画の構成というのは、基本計画のことで、第3章の計画のフレームというのも基本計画です。第4章で都市空間形成の基本方針が出てくるわけですが、これは基本計画の中に入ってくるのでしょうか。第6章というのは、実施計画ではないのでしょうか。このあたり、どのように理解したらよろしいのでしょうか。第6章の一番最初に「政策の柱」、「基本施策」、「基本事業」など色々な言葉が出てきて、これで頭の中が混乱してしまい、非常にわかりにくいと感じています。3ページの図と第6章の関係を教えてください。また、80ページの部分は、実際に報告書の中に入れるのでしょうか。それとも私たち向けにわかりやすく説明するためのものなのでしょうか。

#### 事務局

- ・ 80ページは、計画書に入れる予定です。

#### 会長

- ・ 基本構想と基本計画について、基本構想は、長いスパンのもので、その中に基本計画があるということで、フレームも基本構想ではもう少し長期的に考えていますが、基本計画は、計画期間内のフレームを考えているわけです。したがって、第3部はすべて基本計画になるということになります。

#### 事務局

- ・ 2ページの計画の構成を御覧ください。総合計画そのものが、基本構想、基本計画、実施計画で構成されており、実施計画は別途作成することにしています。第6章、第7章含め、第3部すべてが基本計画になります。

#### 委員

- ・ 76ページ、保育士等の女性の雇用促進支援について、これは何を引用しているので



しょうか。女性保育士を増やすということなのか、男女の保育士を増やしてそれによって、女性の雇用促進支援につなげるという意味なのか。保育士は女性だけでなく、男性もかなり増えていますので、そのあたりを教えていただければと思います。

#### 事務局

- ・ 保育士の確保策は、男性女性関係なく、市で進めているところであります。人口の格差のところから、女性をクローズアップするという気持ちがあつて、女性という表現が入っています。保育士については、まだ女性になる割合が高いと思いますので、あえて女性ということを入れなくても、こういった取組を支援していくことが、女性の活躍につながるということであれば、「女性の」という表現はいらなないかもしれませんので、どう標記するか検討させていただければと思います。

#### 会 長

- ・ 「保育士等の女性」というのが良くないのかもしれませんが。「保育士等の確保による女性の雇用促進支援」など、保育環境を良くすることによって、女性の雇用促進を支援するという趣旨だと思うのです。ここについては、趣旨をしっかりと入れて対応していただければと思います。

#### 委 員

- ・ III「安全・安心の未来都市」の実現に向けての基本施策9. で危機への備え、対応力を高めるところで、現状・課題が書いてありますが、重要な危機を解消するということについて、防災意識を高めるということは非常に重要であると思います。そういうことで、基本施策の目標に、市民が自助・共助の意識を持って防災対策に取り組むとともに、という提言がされていますが、防災については、防災意識の高揚が非常に大切な基本事業の一つを担ってくるのではないかと思います。そこで、他のところと比較してみると、117ページについては、③の(3)で防火意識の高揚という記載があり、119ページの防犯についてですが、市民の防犯意識の高揚、交通安全意識の向上といった表現が基本事業としてあるのですが、防火意識の高揚という表現も基本事業の1つとして盛り込むべきではないかと思います。自助・共助を基本施策の目標に掲げているのだから、是非とも検討していただきたいと思います。

#### 事務局

- ・ 御指摘の通り、117ページの①危機に対する体制・都市基盤の強化について、自助、共助のところの記載をしておりますが、施策指標について、防災出前講座の参加者数ということで掲げていますが、このあたりも防災意識の高揚を意識して挙げているところ です。(2)の2番目の地域防災対策の強化のところ で読み取ろうとして、所管課

も検討したものだと思われるので、防災意識の高揚という表現を入れることについて、少し検討させていただければと思います。

#### 委員

- ・ 防火や防犯については、明確に意識の高揚という表現が入っているにもかかわらず、なぜ防災だけが入っていないのか不思議に思います。是非ともよろしく願いいたします。

#### 会長

- ・ ほかにいかがでしょうか。時間もちょうど良いので、副会長の二人に御意見をいただきたいと思います。

#### 委員

- ・ 基本構想，基本計画，実施計画とあるわけですが，基本計画については，前期5年，後期5年ということですが，実施計画は，非常に細かいものになってまいります。その細かいところになったときに，3つの輪，あるいは協働というところをしっかりと意識して実施していくということが，一番重要な点ではないかと思います。非常に多岐にわたっていますので，パブリックコメントに向けての細かい調整があると思いますが，是非気づいた点があれば，事務局のほうにお知らせしていただければと思います。

#### 委員

- ・ 先ほどポジティブかネガティブかという議論がありましたが，どのような姿勢をとるかということは非常に重要な問題でして，人口減少は，決してマイナスにならないという考えを持っています。書きぶりとして，ポジティブに書いてもらうという方向で，計画を策定していただければと思います。

#### 会長

- ・ ありがとうございます。これから，パブリックコメントが予定されていますが，今日，どうしても言い忘れたというところがあれば，できるだけ早く事務局のほうに御意見を出していただいて，パブリックコメントで頂いた意見とあわせて，できる範囲で修正をして，次回の審議会にかけるということになりますので，よろしく願いいたします。
- ・ ほかになければ，議事を終了したいと思います，その他がございましたので，事務局からお願いしたいと思います。

## 事務局

- 事務局から大きく二つお知らせがあります。まず一つ目ですが、第4回、第5回の審議会の議事録につきまして送付させていただいたところでございます。内容を御確認の上、修正等がございましたら、12月15日までに事務局に御一報いただけますようよろしくお願いいたします。いつもどおり、ホームページで議事録の公開をさせていただきます。また、本日の会議で足りない部分があれば、パブリックコメントの期間に入ってしまうますが、何なりと事務局のほうに申しつけいただければと思います。
- 二つ目ですが、次回の会議でございますが、12月8日から1月8日までの1ヶ月間、パブリックコメントを実施させていただき、その後、来年の1月下旬に、第7回の審議会全体会の最終回を開催させていただきまして、そこで審議会としての答申書、皆様の意見をまとめた案をお示しさせていただきます。2月上旬に答申の予定となります。3月下旬に、総合計画が最終的に決定されるという運びにさせていただきます。次回の審議会につきましては、日程が決まり次第、開催通知をお送りさせていただきます。よろしくお願いいたします。

以上